

## ■雲南市立木次中学校改築事業〔建設候補地（案）〕

### 1. はじめに

- ・木次中学校は、特に校舎棟の劣化が著しく早急な改善が求められており、雲南市学校施設整備保全計画（令和3年3月策定）においても、最優先での改築等が必要と位置付けています。このため、市では令和5年度から木次中学校の改築事業の検討に着手することとしました。
- ・義務教育学校の議論も並行して進めていきますが、これによって改築時期が遅れないよう進めていきたいと考えています。

#### 【主な老朽箇所】

- ・屋根の軒天及び外壁の庇部分は、塗装が剥げ、コンクリート片が落下。
- ・外壁・内壁・床部分は、クラック（ひび割れ）が発生。
- ・昇降口の天井部分は、雨漏りが発生。



- ・木次中学校の改築事業に関する基本構想・基本計画の策定にあたり、当該事業の内容等について、当該校区地域の住民その他の関係者の意見を聴くため、雲南市立木次中学校整備検討委員会（委員は有識者、保護者の代表、小中学校の教職員、市民活動団体等）を設置し、検討を進めています。
- ・木次中学校の改築事業のうち、令和5年度は建設候補地について主に検討しましたので、その内容についてご報告します。
- ・新校舎は令和10年度に開校したいと考えています。

### 2. 検討経緯

- ・令和5年度は以下の日程で検討を進めており、令和6年度も引き続き検討を進めます。

時期	項目	概要
令和5年7月27日	第1回検討会	改築に至った経緯、現状と課題、木次中学校教育方針の説明、スケジュール等
令和5年11月30日	第2回検討会	建設候補地を3箇所程度の事務局素案提示
令和6年2月19日	第3回検討会	建設候補地に関する詳細な検討資料の提示委員からの意見聴取
令和6年3月25日	第4回検討会	第3回検討会の意見を踏まえて、検討資料の提示⇒再検討
令和6年4月～5月	市民等	市民説明会の実施、パブリックコメント実施

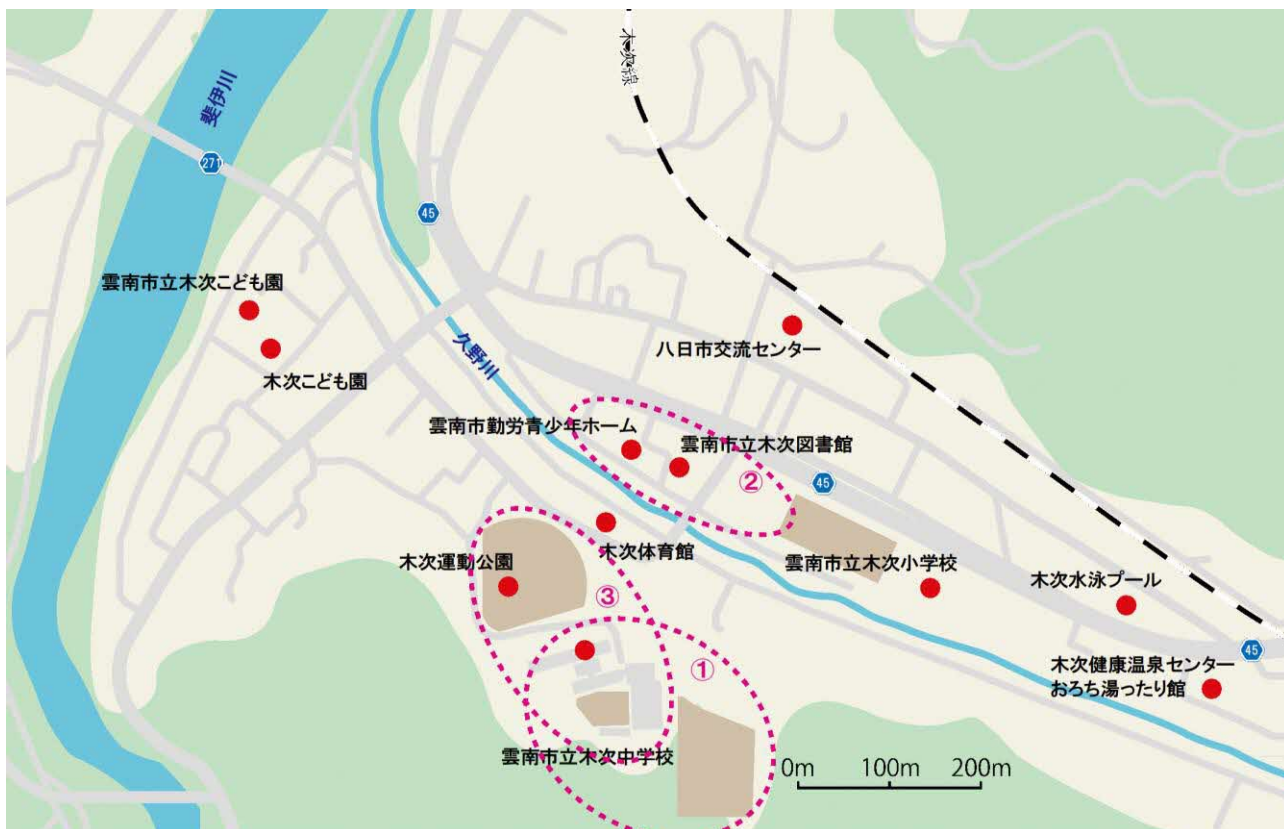
### 3. 候補地検討の条件

- ・木次中学校の改築事業を行う上で候補地の検討を行いました。候補地検討する上での前提条件について以下のとおりとしています。

条件
<ul style="list-style-type: none"> <li>・親しみのある原位置であることや避難施設ともなっていることから、<u>候補地は木次の市街地から近接した場所とする。</u></li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>財政面や改築事業の円滑な推進のため、市有地を活用する。大規模な造成等も行わない。</u></li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 10 年度の木次中学校の生徒数は令和 5 年度よりも若干の増える見込みです。これを踏まえて、<u>現木次中学校の規模の建物を配置することができる敷地とする。グラウンドや体育館等は隣接地に確保することとする。</u></li> </ul>

### 4. 抽出される候補地

- ・上記の検討条件より以下の候補地を抽出しました。



## 5. 候補地の比較検討

各候補地について、検討委員会でいただいた意見等を踏まえて、以下の検討条件で配置案の作成、概算工事費の算出等を行い、各候補地の比較検討を実施しました。比較のために作成した配置図は巻末に示します。

項目	①現学校敷地	②旧市庁舎跡地	③木次運動公園 野球場敷地	④原位置建替
配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>現校庭敷地に校舎、現校舎敷地に校庭グラウンドを配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧市庁舎跡地及び勤労青少年ホームに校舎、屋内運動場及び武道場を配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>木次運動公園野球場敷地に校舎、屋内運動場及び武道場を配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原位置に仮設校舎を建設し、既存校舎を撤去、校舎を新設</li> <li>その他の施設は既存のものを活用</li> </ul>
校舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>新設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新設</li> </ul>
屋内運動場等	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋内運動場及び武道場は既存の大規模改修を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校舎の上階に新設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋内運動場及び武道場は既存の大規模改修を実施</li> </ul>
グラウンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>現校舎を撤去して整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>敷地内に配置できないため、木次小学校と一体的整備等に対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野球場の余剰地を活用</li> <li>現校舎、屋内運動場等を撤去して整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現グラウンドをそのまま活用</li> </ul>
候補地にある施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>現校舎を撤去</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>勤労青少年ホームを撤去</li> <li>旧庁舎跡地は本事業とは別に解体予定（R6年度）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野球場を撤去</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現校舎を撤去（随時）</li> </ul>
災害対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>現校庭敷地に校舎を建てる場合は土砂災害特別警戒区域（急傾斜地）に指定される可能性が高い</li> <li>想定される区域を除いて配置を検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>浸水想定区域（想定最大規模（1000年に1回の降水確率）の1.0～2.0m未満の区域がほとんどである</li> <li>建物をピロティ化し、嵩上げを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>敷地内に土砂災害特別警戒区域（急傾斜）が発生する可能性がある</li> <li>想定される区域を除いて配置を検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハザードが想定される区域を除いて配置を検討する</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>校舎と屋内運動場等が離れるため、渡り廊下を設置する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校舎とグラウンドが公道を挟んで敷地が別になる</li> <li>軟弱地盤の可能性が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画公園であるため都市計画変更を行う。</li> <li>野球場へのアクセス道路（L=5m）の幅員が狭いため1.5m程度拡幅</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別教室棟用の仮設校舎を建設、現特別教室棟を撤去</li> <li>校舎を新設、現普通教室棟、仮設校舎を撤去</li> </ul>

■木次中学校建設候補地検討（事務局案）

項目	①現学校敷地	②旧市庁舎跡地	③木次運動公園野球場敷地	④原位置建替
整備方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現校庭敷地に校舎、現校舎敷地に校庭を配置</li> <li>・屋内運動場及び武道場は既存の大規模改修を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧市庁舎跡地及び勤労青少年ホームに校舎、屋内運動場及び武道場を配置</li> <li>・校庭は敷地内に配置できないため、木次小学校と一体的整備等に対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木次運動公園野球場敷地に校舎、屋内運動場及び武道場を配置</li> <li>・校庭は現学校敷地内に配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原位置に仮設校舎を建設し、既存校舎を撤去、校舎を新設</li> <li>・その他の施設は既存のものを活用</li> </ul>
配置イメージ 配置特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進入路が1箇所となるため歩車分離が困難（ただし、出入りする車は限定される）</li> <li>○敷地内の歩車分離が可能。駐輪・駐車スペースも十分確保可能。</li> <li>○教室を南向きに確保ができ、敷地に余裕があるため建築の自由度がある</li> <li>・校舎と屋内運動場等が離れるため対応が必要（渡り廊下で対応）</li> <li>・校舎とグラウンドの敷地が別になり、移動時間がかかる</li> <li>○緩衝スペースの確保が難しい200mトラック、サッカー場 45m×90m、ソフトボール場の確保が可能、テニスコートが1面確保できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼高低差があるため前面道路から階段をあがってアプローチするようになる（1階はピロティとする）</li> <li>○敷地内の歩車分離が可能。</li> <li>▼教室は南西向き。敷地に制限があり、現案で建蔽率が上限に近く、配置が限定される。</li> <li>○建物配置がコンパクトで移動動線が短い</li> <li>▼外部利用のための1階からのアクセス動線を確保する必要がある</li> <li>▼校舎とグラウンドの敷地が別になり、公道を通り交差点を渡る必要があり、移動時間、安全性の問題がある</li> <li>▼200mトラック、100m直走路、サッカー場 45m×90m、ソフトボール場の確保が可能であるが小学校と共用である。テニスコートが1面確保できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進入路が1箇所となるため歩車分離が困難（ただし、出入りする車は限定される）</li> <li>○敷地内の歩車分離が可能。駐輪・駐車スペースも十分確保可能。</li> <li>・教室を南向きに確保ができる</li> <li>○建物配置がコンパクトで移動動線が短い</li> <li>・グラウンドが確保されるものの他の案に比べて小さい</li> <li>・体育館等の外部利用がしにくくなる。</li> <li>○200mトラック、サッカー場 45m×90mが確保でき、緩衝スペースの確保が可能。テニスコートが2面確保できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進入路が1箇所となるため歩車分離が困難（ただし、出入りする車は限定される）</li> <li>○敷地内の歩車分離が可能。駐輪・駐車スペースも十分確保可能。</li> <li>・教室を南向きに確保ができる</li> <li>○建物配置がコンパクトで移動動線が短い</li> <li>・校舎とグラウンドの敷地が別になり、移動時間がかかる</li> <li>○現状のグラウンドが活用できる</li> </ul>
立地特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○山林に囲まれ、周辺とも隔離しているため良好な教育環境である</li> <li>▼校舎を配置するグラウンドは現校舎よりもさらに高台にあり、アクセス道路の傾斜もあるため、利便性に劣る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幹線道路に面しており交通アクセスが良好である。</li> <li>・住宅との隣接地は一部である。</li> <li>▼現校舎に杭が設置されていることから軟弱地盤への対応が必要になる可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺とも隔離しているため良好な教育環境である</li> <li>○現校舎よりも低い位置にあるため、利便性が良い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○山林に囲まれ、周辺とも隔離しているため良好な教育環境である</li> <li>・慣れ親しんだ現在の位置にあり、同じ利便性が提供できる</li> </ul>
災害リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地内に土砂災害特別警戒区域（急傾斜）が発生するが、区域を除いて施設配置が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼浸水想定区域（想定最大規模（1000年に1回の降水確率）の1.0～2.0m未満の区域がほとんどであり、嵩上げ等の対応が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地内に土砂災害特別警戒区域（急傾斜）が発生する可能性があるが、区域を除いて施設配置が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の敷地内に土砂災害特別警戒区域（急傾斜）が発生している、区域を除いて施設配置が可能</li> </ul>
建設コスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>○屋内運動場、武道館等は現有施設を使用するため、全面建替よりもコスト削減が図られる。39億円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼浸水対策のため、1階をピロティとするため、コストが割高となる。57億円（+18億円）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼上層階に体育館等を配置するためコストが割高となる。54億円（+15億円）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○屋内運動場、武道館等は現有施設を使用し、グラウンドの整備費用も不要。41億円（+2億円）</li> </ul>
日照、景観等 懸念事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲を山々で囲まれているため、日当たりが悪く、風通しへの懸念がある。</li> <li>・周辺からの視認性が悪く、校舎からの眺望も望めない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺からの視認性もよくシンボリックな建物となる。</li> <li>・街並みや山並み、河川や河川沿道の桜等の眺望が期待される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺からの視認性もよくシンボリックな建物となる。</li> <li>・街並みや山並み、河川や河川沿道の桜等の眺望が期待される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺からの視認性もよくシンボリックな建物となる。</li> <li>・街並みや山並み、河川や河川沿道の桜等の眺望が期待される。（現在よりも山手側）</li> </ul>
総合所見	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現施設よりも利便性が劣るものの、建設コストが最も抑えられ、敷地として余裕があり、建築の自由度も高いことから候補地として優位</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼災害リスクへの対応があり、建設コストが割高となること、公道を行き来する動線となること、敷地の制約があること等から候補地としては不適</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設配置は可能であり案としては考えられる。</li> <li>▼整備費用が高額となり体育館等の外部利用も難しくなる。</li> <li>※都市計画公園の変更に係る手続きに長期間が必要、代替となる公園整備が必要になる可能性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現施設の利便性が確保され、高低差やコストの開きも小さく、案として最も優位である。</li> <li>・仮設校舎の配置や工事ステップ、バックヤードの詳細検討が必要</li> </ul>

○他の案に比べて優れている内容 ▼他の案に比べて劣る ・現状と同等又は優劣無し

## 6. 候補地の抽出

これまでの検討を踏まえて木次中学校の改築事業の候補地は現学校敷地での原位置建替案を基本に進めていきたいと思えます。

【改築事業 建替候補地】

### 現学校敷地での原位置建替

#### ■検討委員会での各候補地への意見

候補地	意見
①現学校敷地 (現グラウンドに新校舎を配置する案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼現在の位置よりもさらに上側に配置することになれば利便性が低下する。生徒の苦労も考えると適切でない。</li> <li>▼周囲を山で囲まれ、日当たりが悪く、風通しへの懸念があり、眺望も望めないため適切でない。</li> </ul>
②旧市庁舎跡地	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼浸水想定区域内にあること、グラウンドと校舎が分離し、公道を跨いで移動しないといけないこと、小学校とグラウンドを併用することから適切でない。</li> <li>▼建築の自由度が無い。</li> <li>○将来の小学校の建替や小中一貫校としての整備、その他の周辺の公共施設の再編もあわせて考えれば、この位置が望ましいと考える。</li> </ul>
③木次運動公園 野球場敷地	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼グラウンドを野球場と同じ高さで一定規模確保できるのであれば適地になると考えるが、現校舎をグラウンドとする場合は高低差が大きく、体育等の授業の運営を考えると難しい。</li> <li>▼体育館を校舎の上層部につくれたとしてもコスト面や地域利用を考えると別途アクセスできるようにエレベーターを確保する等の必要があるため。</li> </ul>
④原位置建替 現学校敷地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最良の案とは言えないがこれらの候補地からではこの案が良い。</li> <li>○他の候補地の検討課題が解決できるためこの案が良い。</li> <li>▼進入路が狭く、傾斜がある。冬場は凍結や雪かきの必要性がある等、現在の中学校が抱える課題が解決されない。</li> </ul>

▼否定的な意見又は検討課題 ○肯定的な意見

※原位置建替に関する課題の内容は引き続き検討して参ります。

雲南市立木次中学校の改築事業の検討（建設候補地について） 令和6（2024）4月

作成 雲南市 教育委員会 教育総務課

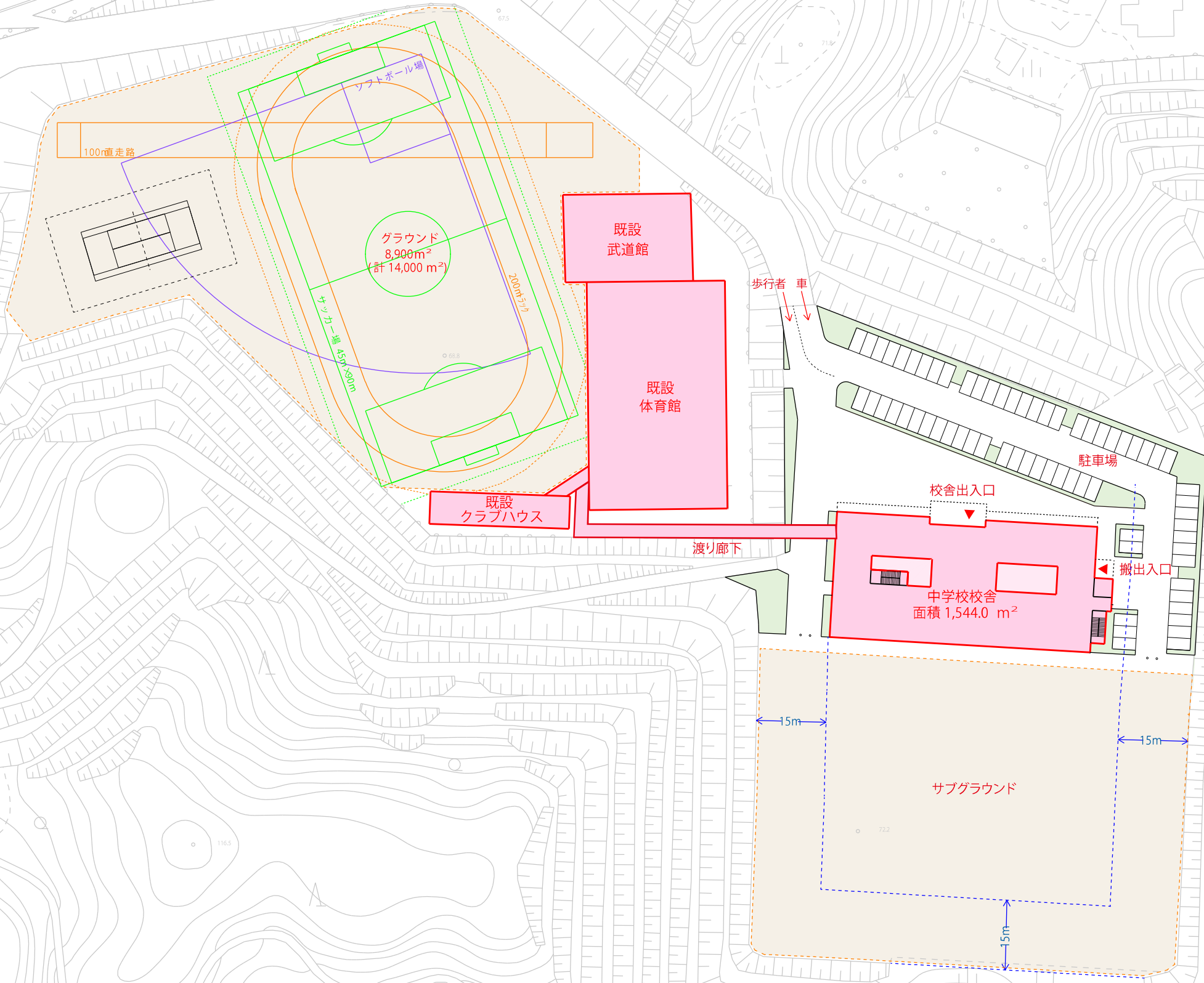
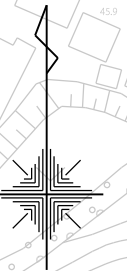
〒699-1392 島根県雲南市木次町里方 521-1

TEL : 0854-40-1071 FAX : 0854-40-1079

Mail : youikusoumu@city.unnan.shimane.jp

# ① 現学校敷地

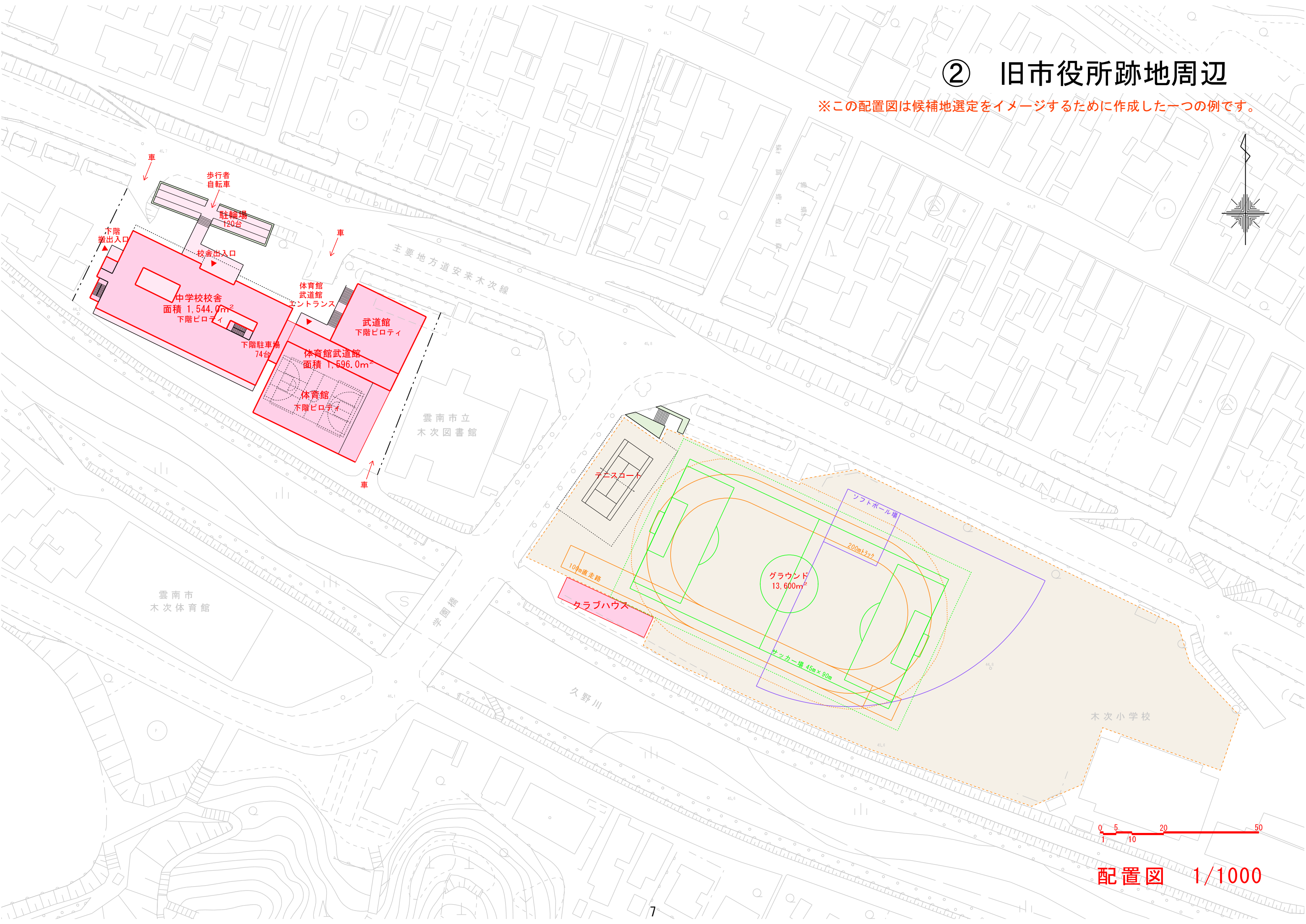
※この配置図は候補地選定をイメージするために作成した一つの例です。



配置図 1/1000

## ② 旧市役所跡地周辺

※この配置図は候補地選定をイメージするために作成した一つの例です。

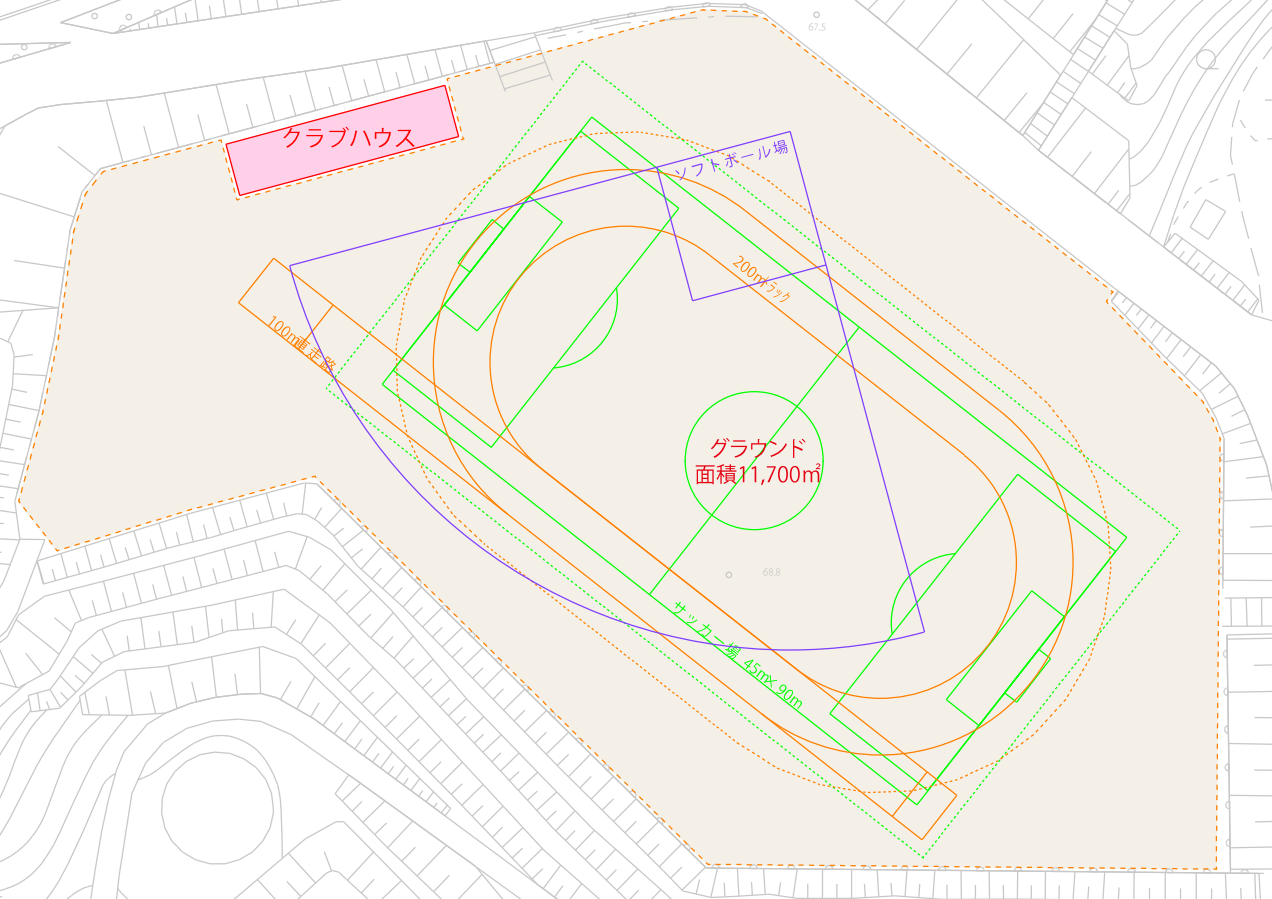
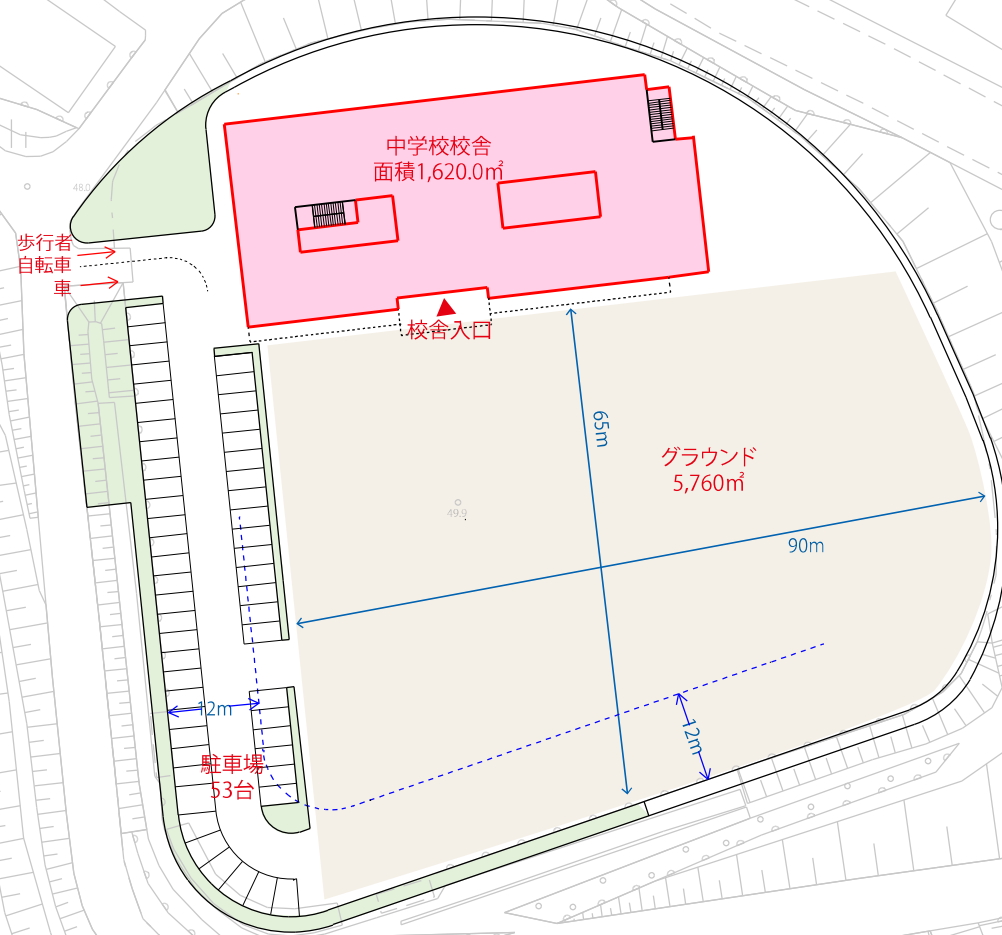


配置図 1/1000

### ③ 木次運動公園野球場敷地

上層体育館配置案

※この配置図は候補地選定をイメージするために作成した一つの例です。

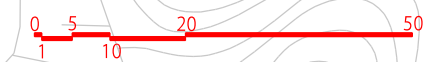
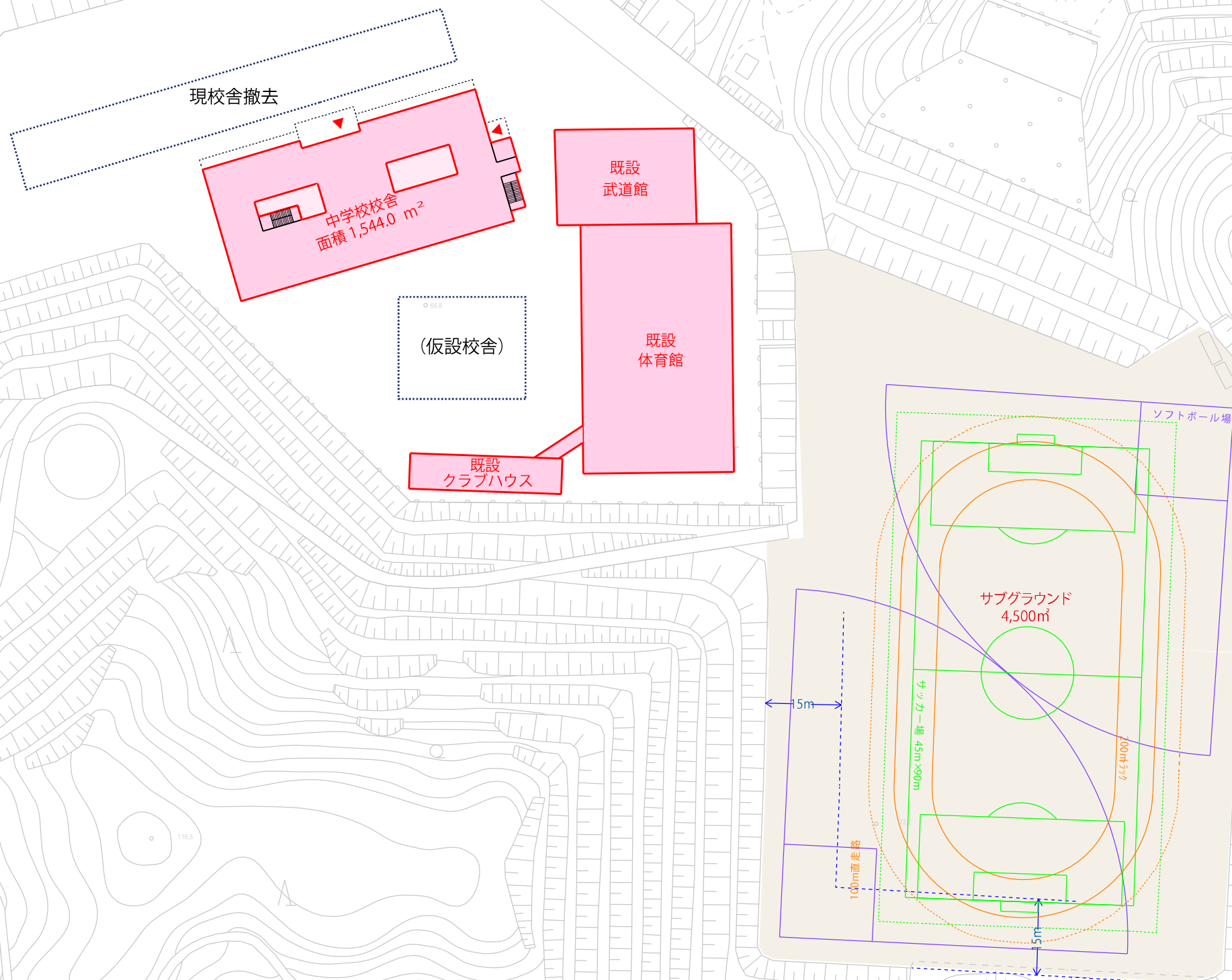
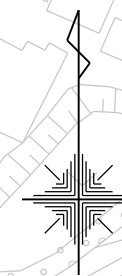


配置図 1/1000



# ④ 原位置建替

※この配置図は候補地選定をイメージするために作成した一つの例です。



配置図 1/1000